



# 平成30年度岡山市職員採用試験受験案内 民間企業等職務経験者

平成30年8月17日

岡山市人事委員会  
(事務局) 岡山市人事委員会事務局  
〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号  
TEL(086)803-1554(直通)



受付期間【郵送】 平成30年 8月17日(金曜)～ 9月7日(金曜) (当日消印有効)  
第1次試験日 平成30年 10月21日(日曜)

この試験では、民間企業などで培われた専門的知識や技術、柔軟な発想力、豊かなコミュニケーション力、調整力、サービス意識、コスト意識を有し、それらを岡山市政に活かしたいという意欲のあるフレッシュな人材を求めています。

## 1 試験区分、採用予定人員及び職務内容

試験区分	採用予定人員	職務内容
システム(D)	1人程度	岡山市の各情報システムの構築、運用・管理等に関わる業務等
土木(E)	4人程度	公共土木工事に関する調査、計画、設計、施工監理・監督等の業務
建築(F)	1人程度	建築関連法令等に基づく構造関係の書類審査及び現場調査業務 公共施設の建築・維持管理等に係る調査、計画、設計、施工監理・監督等の業務
機械(G)	1人程度	公共施設の機械設備の設置・維持管理等に係る調査、計画、設計、施工監理・監督等の業務
電気(H)	1人程度	公共施設の電気設備の設置・維持管理等に係る調査、計画、設計、施工監理・監督等の業務

## 2 試験及び合格者発表の日時・場所

区分	日時	場所	備考
第1次試験	平成30年10月21日(日曜) 受付時間 午前8時30分～8時45分 終了時間 午後3時頃	ほっとプラザ大供 (岡山市北区大供二丁目3-16) ほか	試験場は受験票に記載して通知します。 当日は昼食が必要です。
第1次試験合格者発表	平成30年11月2日(金曜) 午前9時30分(予定)	岡山市役所本庁舎 公告式掲示場(バス停前)、 人事委員会ホームページ	合格者のみに郵便で通知します。 ※ 日時に変更がある場合は、人事委員会のホームページに掲載します。
第2次試験	平成30年11月中旬～12月上旬	日時及び場所は第1次試験合格者に直接通知します。	
最終合格者発表	平成30年12月中旬	岡山市役所本庁舎 公告式掲示場(バス停前)、 人事委員会ホームページ	合格者のみに郵便で通知します。

※ この採用試験の各試験段階で合格されなかった人は、当該試験の本人の成績(順位と得点)についての開示を請求することができます。ただし、試験を棄権した人(試験の一部でも受験していない人)には成績を開示することはできません。また、合格者の成績は開示できません。

受験者本人が、本人であることを証明する書類(運転免許証、顔写真入りの学生証など)を持って、直接人事委員会事務局へ来て開示を請求してください(土曜日、日曜日、祝日、休日、12月29日から1月3日を除く。)。請求は各試験の合格者発表を行った日からできます。請求できる期間は合格者発表の日の翌日から起算して30日目までです。ただし、最終日が閉庁日の場合は、次の開庁日までとなります。

### 3 受験資格

- ・昭和34年4月2日から昭和63年4月1日までに生まれた人（学歴は問いません。）
- ・試験区分「システム（D）」については、情報処理技術者試験センターが実施する試験のうち、下の別表に掲げる試験のいずれかに合格している人
- ※ 第2次試験の際に受験資格に該当する試験の合格が確認できる書類を提出していただきます。
- ・各試験区分に関する民間企業等での職務経験が、直近6年（平成24年8月1日から平成30年7月31日まで）中に4年以上ある人

#### 「民間企業等での職務経験」について

- ・雇用形態は問いません。正社員、派遣社員、契約社員、パート、アルバイト、自営業者、公務員、団体職員等として、週30時間以上の勤務を2年以上継続して就業した期間が該当します。
- ・2年以上の職務経験が複数ある場合には、通算することができます。
- ・1か月未満の日数は、30日を1か月として換算します。

試験区分	受験に必要な職務経験
システム（D）	システム開発・運用及びシステム運用者（顧客等）への指導
土木（E）	トンネル、橋梁、道路、河川等の大規模構造物の建設又は維持管理に係る計画・設計、施工監理
建築（F）	大規模建築物の建築設計・施工監理又は大規模建築物の構造計算
機械（G）	大規模機械設備工事の設計・施工監理
電気（H）	大規模電気設備工事の設計・施工監理

（注） 最終合格者発表後、職務経験期間等の確認のため、証明書類を提出していただきます。

- ※ 次のいずれかに該当する外国籍の人も受験できます。
  - (1) 出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）に定められている永住者
  - (2) 日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法（平成3年法律第71号）に定められている特別永住者
    - ・永住許可又は特別永住許可を申請中の人は、採用前日までに永住者又は特別永住者の在留資格を取得できない場合、この試験に合格しても採用される資格を失うものとします。
- ※ 上記にかかわらず、地方公務員法第16条の規定に該当する人は、**受験できません**。
  - ・成年被後見人又は被保佐人（準禁治産者を含む。）
  - ・禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人
  - ・岡山市職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない人
  - ・日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した人

#### <システム資格要件 別表>

試験名称	備考
応用情報技術者試験	ソフトウェア開発技術者試験，第一種情報処理技術者試験，プロダクションエンジニア試験を含む。
ITストラテジスト試験	システムアナリスト試験，上級システムアドミニストレータ試験を含む。
システムアーキテクト試験	アプリケーションエンジニア試験，特種情報処理技術者試験を含む。
プロジェクトマネージャ試験	－
ネットワークスペシャリスト試験	テクニカルエンジニア(ネットワーク)試験，オンライン情報処理技術者試験を含む。
データベーススペシャリスト試験	テクニカルエンジニア(データベース)試験を含む。
ITサービスマネージャ試験	テクニカルエンジニア(システム管理)試験，システム運用管理エンジニア試験を含む。
システム監査技術者試験	情報処理システム監査技術者試験を含む。
情報処理安全確保支援士試験	情報セキュリティスペシャリスト試験，テクニカルエンジニア(情報セキュリティ)試験，情報セキュリティアドミニストレータ試験を含む。

## 外国籍の受験希望者の皆さんへ

- 採用にあたって、在留資格において就労等が制限されている人は採用されません。
- 採用後の任用にあたって
  - (1) 「公権力の行使又は公の意思の形成に参画する公務員については、日本国籍を必要とする」という公務員の基本原則に基づき、次の<任用できない業務等>以外の業務に就くことになります。
    - <任用できない業務等>
      - ・市民の権利や自由を一方的に制限する内容を含む業務
      - ・市民に対して強制力をもって執行する業務
      - ・公の意思の形成に参画する職
    - ・市民に義務や負担を一方的に課す内容を含む業務
    - ・その他公権力の行使に該当する業務
  - (2) 昇任については、(1)の<任用できない業務等>以外のポストであれば、能力に応じて昇任することができます。

## 4 試験の方法・内容等

### (1) システム(D)

試験の方法・配点		試験の内容・出題分野	
第1次試験 (120点)	書類審査(80点)	申込書の記載内容について	
	能力試験 (40点)	択一式 (70問) 70分	文章理解や数量的処理等の基礎能力について
	小論文*1	120分	当日出題されるテーマについての専門的知識、文章構成力、教養等について
	エントリーシート*2	30分	自己PR等(詳しい内容は当日お知らせします。)
	適性検査*3	40分	主として人物、識見、職務適性、対人関係能力等を評価します。
第2次試験 (500点)	口述試験(個別面接)		

### (2) 土木(E), 建築(F), 機械(G), 電気(H)

試験の方法・配点		試験の内容・出題分野		
第1次試験 (180点)	書類審査(80点)	申込書の記載内容について		
	能力試験 (40点)	択一式 (70問) 70分	文章理解や数量的処理等の基礎能力について	
	専門試験 (60点)	択一式 (30問) 120分	土木	数学・物理, 応用力学, 水理学, 土質工学, 測量, 土木計画(都市計画を含む。), 材料・施工
			建築	数学・物理, 構造力学, 材料学, 環境原論, 建築史, 建築構造, 建築計画(都市計画, 建築法規を含む。), 建築設備, 建築施工
			機械	数学・物理, 材料力学, 流体力学, 熱力学, 電気工学, 機械力学・制御, 機械設計, 機械材料, 機械工作
			電気	数学・物理, 電磁気学・電気回路, 電気計測・制御, 電気機器・電力工学, 電子工学, 情報・通信工学
エントリーシート*2	30分	自己PR等(詳しい内容は当日お知らせします。)		
適性検査*3	40分	主として人物、識見、職務適性、対人関係能力等を評価します。		
第2次試験 (500点)	口述試験(個別面接)			

\*1 小論文の評定結果については、第1次試験の合格者決定には反映されず、第2次試験合格者の決定の際に他の試験と総合します。

\*2 エントリーシートは口述試験で使用し、採点しません。また、返却、写しの交付等はいりません。

\*3 適性検査の結果については、口述試験の参考とします。

※ 各試験段階におけるそれぞれの試験において一定基準に達しないものがある場合は、他の成績に関わらず不合格となります。

※ 身体等の事情により受験の際に特に配慮の必要な方は、試験会場等の準備に必要なため、申込書裏面の該当欄にその旨を記載してください。

## 5 合格から採用まで

(1) 最終合格者は、試験区分ごとに採用候補者名簿に登載され、欠員を生じた場合に必要に応じて成績順に採用します。この名簿は確定の日から1年間有効です。採用時期については現在のところ、おおむね平成31年4月の予定です。

※ 採用時の職については主任級(職歴及び学歴により主事級)での採用となります。

(2) 合格者発表後、受験資格がないこと又は申込書の記載事項が正しくないことが判明した場合、合格を取り消すことがあります。

(3) 地方公務員法第22条第1項の規定に基づき、採用はすべて条件付のものとし、採用後6か月間を良好な成績で勤務したときに正式採用となります。

## 6 給与

- (1) 初任給は、採用者の職歴及び学歴等を勘案して決定されます。
- (2) 給料のほか、地域手当、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当（4.4か月）等が支給されます。

## 7 受験申込手続（申込みは郵送に限ります。持参での申込受付は行っていません。）

申込書の入手方法	人事委員会ホームページからの印刷	<b>申込書（A4サイズ）</b> <b>*縮小や拡大をせずに1枚の紙に両面印刷すること。</b>
	市の機関での入手	<b>受験票（A4サイズ）</b> <b>*縮小や拡大をせずに印刷すること。</b>
	郵送による請求	封筒のおもてに希望する試験区分「例：民間企業等職務経験者（土木）」及び「申込書請求」と朱書し、裏に請求者の住所・氏名を明記し、120円切手をはった郵便番号・あて先明記の返信用封筒（角型2号の大きさ）を同封して、人事委員会事務局任用係あてに請求してください。
申込方法	提出書類 *返却できません。 申込内容に不備等がある場合、受験票を交付できないことがあります。	<b>申込書、受験票、受験票返信用封筒（長形3号の大きさ）</b> 1 申込書、受験票に必要事項を記入（すべて自書）して署名押印してください。 2 写真（ $475\text{cm} \times 304\text{cm}$ ）2枚（同じもの）を申込書及び受験票の写真欄にはってください。 3 受験票返信用封筒に申込者のあて先を記入し、 <b>82円切手</b> をはってください。 4 試験区分はいずれか1つを○で囲んでください。1人で複数の試験区分に申込みすることはできません。
	申込先	〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号 岡山市人事委員会事務局任用係 あてに <b>申込書を折らずに、必ず簡易書留又は特定記録で郵送</b> してください。 <b>※ 発送の控えは、受験票が届くまで保管してください。</b> <b>※ 簡易書留又は特定記録によらない場合の事故等については責任を負いません。</b> <b>※ 申込書、受験票、受験票返信用封筒以外のものは同封しないこと。</b> <b>※ 封筒のおもてに希望する試験区分「例：民間企業等職務経験者（土木）」を朱書すること。</b> <b>※ 消印が受付期間を過ぎた場合は、受付できません。</b>
受験票の交付試験場の指定	受験票は後日返送します。10月16日（火曜）を過ぎても受験票が届かない場合は、人事委員会事務局へ連絡して指示を受けてください。 第1次試験日に、 <b>受験票を試験場に持参</b> してください。試験場は、交付する受験票で指定しますので、受験票が届いたら <b>必ず試験場を確認</b> してください。指定された試験場以外では受験できません。	

## 8 第1次試験受験にあたっての注意事項

- (1) 服装は軽装での受験を認めています。また、試験場によっては室温調整ができない場合があります。室温調整ができる試験場でも着席位置によって寒い又は暑い場合もありますので、上着を用意するなど服装には十分ご注意ください。
- (2) **試験場は禁煙です。**
- (3) 筆記用具等として、**HBの鉛筆と消しゴム**を持参してください。シャープペンシルの使用は認めていません。
- (4) 試験場には時計のない場合もありますので、時計（時計機能のみのものに限る。）を持参してください。
- (5) 全ての試験（休憩時間含む。）が終了するまで、**通信機器（スマートフォン・携帯電話・腕時計型端末等）は、電源を切つていただくため一切使用できません。**
- (6) 全ての試験（休憩時間含む。）が終了するまで、**試験場から出ることができません。受験者は必ず昼食やお茶を持参してください。**
- (7) 試験場敷地内の下見はできません。また、直接試験場に問い合わせることはご遠慮ください。
- (8) 試験当日は、試験場及びその付近には受験者及び受験者送迎等の自動車は駐停車できません。
- (9) **試験実施に関し、緊急にお知らせする事項がある場合は、人事委員会のホームページに掲載します。**

岡山市人事委員会のホームページアドレス  
[http://www.city.okayama.jp/jinjiinkai/jinjiinkai\\_00020.html](http://www.city.okayama.jp/jinjiinkai/jinjiinkai_00020.html)

## 記入要領

- 1 記載事項に誤りや不正があると、合格を取り消すことがあります。
- 2 ※印欄を除く全ての欄に、黒のボールペン（消せるボールペン不可）を用いて、かい書でていねいに自書してください。  
数字は算用数字を用い、フリガナはカタカナで書いてください。  
該当する事項は○で囲んでください。
- 3 **写真、記入した日付、署名及び押印のないものは、原則として受付できません。**
- 4 **受験票返信用封筒（長形3号の大きさ）のあて先となる氏名の後には「様」を記入してください。**

### 【申込書表面】

- 「**現住所**」 は、現在住んでいるところで、他家に同居している場合には必ず同居先を詳しく記入してください。  
申込書の内容を電話で確認する場合がありますので、**確実に連絡のとれる電話番号を正確に記入してください。**
- 「**送付先**」 は、合格通知その他の連絡を現住所以外のところに希望する場合のみ記入してください。  
「送付先」を記入してある場合、郵便物はすべて「送付先」に送付します。
- 「**写真**」 は、最近3ヶ月以内に撮影した正面向き、脱帽、上半身のものとし、裏面に氏名・生年月日・試験区分を記入したうえで、**リを写真の裏全面につけてはってください。**
- 「**学歴**」 は、「最終(又は現在)」欄から新しい順番に、専門学校等を含めて記入してください。**小学校・中学校は記入しないでください。**ただし、最終学歴が中学校の場合は、「中学校」と記入してください。(中学校名は不要です。) 高等学校卒業程度認定試験に合格した人はその旨を記入してください。  
**学校名(例:〇〇県立△△私立□□)、学部・学科・課程・コース名、在学期間は正確に記入してください。**  
卒・卒見等の区分は、必ず○で囲んでください。
- 「**職歴**」 は、今までの職歴について、受験に必要な職務経験以外のものも含め、**すべて記入してください。**  
すべての職歴の勤務期間(年月)を記入し、職歴のうち、**受験に必要な職務経験(※)を含むものは、勤務期間欄の□にチェック(✓)を入れてください。**  
**現在無職の場合は現在の状況欄に「なし」と記入してください。**  
(欄に書ききれない場合は、各自で別途A4サイズ用の紙に同様の表を作成し、職歴及び氏名を記入のうえ、添付してください。)  
備考欄は、1ヵ月以上の休職等期間(在籍しているが就業していない期間)や特記事項があれば記入してください。

### ※受験に必要な職務経験について

- ・直近「6年」とは、平成24年8月1日から平成30年7月31日のことをいいます。**この期間外の職務経験は、受験に必要な職務経験の期間に該当しません。**
- ・在職期間が不明の場合については、前勤務先に問い合わせるか、公的年金、雇用保険の加入期間を確認するなどして、必ず記入してください。**最終合格者発表後、職務経験期間等の確認のため、証明書類を提出していただきます。**
- ・1か月未満の日数は、30日を1か月として換算します。

- 「**雇用形態**」 は、正規、自営、契約、派遣、パート、アルバイトなどを記入してください。
- 「**職務内容**」 は、設計、施工監理、SEなどを記入してください。なお、受験資格に該当するものについては、2ページ「3. 受験資格」の表中の「受験に必要な職務経験」を満たしていることがわかるように記入してください。(例:「橋梁の維持管理に係る設計」)
- 「**資格・免許**」 は、取得見込みのものも記入してください。取得又は見込を○で囲んでください。

### 【申込書裏面】

各項目について、指定した枠内に収まるよう記入してください。

## 申込書, 受験票, 受験票返信用封筒提出にあたってのチェックリスト

### ・申込書

- 該当する試験区分を○で囲んだか？
- 年齢を平成31年4月1日現在で記入したか？
- 国籍・性別欄の該当を○で囲んだか？
- 現住所の電話番号は, 確実に連絡できるものを記入したか？
- 学校名・学部・学科・課程・コース名は正しく記入したか？
- 学歴の在学期間は正しいか？
- 卒・卒見等の区別をもれなく○で囲んだか？
- 職歴を全て記入したか？職歴の勤務期間の年月数は正しいか？
- 記入した日付を書いたか？署名・押印をしたか？
- 正しい大きさの写真(3ヶ月以内に撮影)をはったか？
- 写真を撮影した年月を記入したか？
- 裏面をすべて記入したか？

### ・受験票

- 申込書にはった写真と同じものをはったか？
- 試験区分, 氏名を記入し, 性別を○で囲んだか？

### ・受験票返信用封筒

- あて先に郵便番号, 住所, 氏名(氏名の後に「様」)を記入したか？
- 長形3号の大きさの封筒に82円切手をはったか？